

感染症発生動向調査事業
西彼保健所感染症情報

令和8年 第5週 令和8年1月26日～令和8年2月1日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報:診断日週掲載)

一類感染症	報告なし						
二類感染症	報告なし						
三類感染症	報告なし						
四類感染症	報告なし						
五類感染症	報告なし						

定点把握の対象となる5類感染症発生状況 (定点医療機関当たり患者数) ↑;前週より増加↑↑;2週連続増加↑↑↑;急増↑↑↑

疾病名	週別 発生状況				警報レベル	注意報レベル	週別 発生状況				基準値			
	4週		5週				4週		5週		開始	終息		
	4週	5週	開始	終息			4週	5週	開始	終息	開始	終息		
インフルエンザ	17.0	注意報	23.4	注意報	30	10	10	突発性発しん	0.67	↑	0.00			
COVID-19	0.80	↑↑	0.20					ヘルパンギーナ	0.00	0.00	6	2		
急性呼吸器感染症 (ARI)	98.0	↑	98.0					流行性耳下腺炎	0.00	0.00	6	2		
R Sウイルス感染症	2.00	↑↑	1.00					急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1		
咽頭結膜熱	1.00	↑	1.00		3	1		流行性角結膜炎	0.00	0.00	8	4		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.67	↑	9.00	警報	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00				
感染性胃腸炎	9.67	↑↑	10.00	↑↑	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00				
水痘	0.33	↑	0.33		2	1	1	マイコプラズマ肺炎	1.00	↑	0.00			
手足口病	3.33	↑↑	0.00		5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00				
伝染性紅斑 (リング病)	-		0.00		2	1		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.00	0.00				

トピックス・季節情報



インフルエンザ情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が警報レベルになりました

- 好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。
- 食品を介しての経口感染もあります。
- 潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱(高熱)、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。
- 急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。
- マスクを着用する場合は鼻と口にしっかりとフィットさせましょう。
- 手洗いを徹底しましょう。手洗いができない場合は、アルコールを使った手指消毒も効果的です。
- 日頃からバランスの良い食事や十分な休養をとり、体調を整えることも大切です。

インフルエンザの報告が急増しました。

第52週の報告数は「22.2」でしたが、第1週の報告数は、ほとんどの定点医療機関が休診のため患者数が少なく、「8.4」であった為、注意報レベルとなりました。よって、本来は警報レベルにあると考えられます。

改めて、感染予防対策を見直し、徹底に努めましょう。

- ✓咳エチケット ✓手指衛生 ✓換気
- ✓十分な休養 ✓バランスの取れた食事

西彼保健所ホームページ「感染症対策」に係るアンケートにご協力ください！

【調査期間】
令和8年2月4日(水)～2月13日(金)

